

周防大島町地域公共交通計画(素案)パブリックコメント等において寄せられた意見とその対応

(意見は到着順)

番号	意見者	対象頁	意見内容	対応案
1	パブリックコメント	P21	SDGsとの関係 目標7” エネルギーをみんなにそしてクリーンに” 上記目標がはいっていないのでは？たちまち既存のバス/マイクロバスを利用するとして、近くEVを導入することを検討してみたいか？国からの補助金を利用すれば安価に導入できますし、大島観光のPRにもなります。 国交省電動バス導入ガイドライン： https://www.mlit.go.jp/common/001265916.pdf	SDGsの目標として掲載している” エネルギーをみんなに そしてクリーンに”については、第6章計画の基本的な方針/6.2SDGsとの関係 において記載しているとおり、電気自動車等の活用は技術開発・法整備等の動向により検討していきたいと考えています。 また、本計画に位置付ける事業の実施を通じて自家用車利用から公共交通利用に転換することでCO2排出量の削減を図りたいと考えています。
2	同上	P47	計画推進体制PDCA 施策①～⑤を同時に進める案と理解しました。例えば優先的に2023年度は施策①と②とを実施する案の方が人員等で現実的かと思えます。	第9章 計画推進体制については、当計画全体のPDCAサイクルの進捗イメージをお示しているものであり、施策①～⑤のスケジュールについては、「第8章 8.2施策と事業の内容」にて、事業ごとにスケジュールを記載させていただいております。 施策遂行にあたりましては、行政のみならず、交通事業者の方や町民の皆さま、町内の商業施設や観光施設等にもご協力を頂き、皆さまで一体となって進めていくことが重要であるとも考えておりますので、ご理解ご協力を賜れますと幸いです。
3	同上	全体	約50ページにわたる素案を拝見しました。資料の中であまり触れられていませんでしたが、公共バスと電車の乗り継ぎが現在のところ非常に悪いです。 新しい交通計画の中で、現在防長バスが担っている区間に町バスが代わるのか良く分かりませんが、もしも大島駅までのバスを運行するようならば、もっと積極的に電車のダイヤとのすり合わせを行ってほしいです。 観光客もこのダイヤでは利用しにくいと思えます。 よろしく願いいたします。	ご指摘のとおり、バスとJR山陽線との乗継は重要なものと認識しています。 今後、路線の見直し等を行うにあたり、できる限りJRのダイヤも踏まえ設定をしていきたいと考えています。
4	同上	全体	町民に公共交通機関を利用するきっかけ作りということにもなるので、ぜひ朝、夕の通勤通学時間帯の大島までのバス運行を強化していただきたいです。 三浦ですら大島駅までの送り迎えが保護者の負担になるのに、他の地域からの大島駅への送り迎えとなると現実的ではなく、どうしても転居を伴うことになってしまうのではないのでしょうか。 町内の中学高校の存続も悩ましいですが、そもそも子育て世帯の人口が流出してしまっただけで町の存続すらも危機的状況になります。 子育て世帯の転居はかなり深刻な問題だと思えます。 せめて島の中からも島外の学校へ通えるという希望が持てたらいいなと思えます。 これからも周防大島町に住んでよかったと思える町にして欲しいです。	自動車等の運転免許を持たない小中学生及び高校生等の通学手段は、公共交通を中心に確保していくべきと考えています。 通学時の公共交通利用の問題点も踏まえながら、見直すべき内容などを検討していきたいと考えています。

周防大島町地域公共交通計画(素案)パブリックコメント等において寄せられた意見とその対応

(意見は到着順)

番号	意見者	対象頁	意見内容	対応案
5	同上	全体	<p>この島に住んで9年目になります。 宿泊客の98パーセント程度は自家用車で来れますが、年に数組は防長バスで来られます。 その際に翌日、道の駅等へのバス運行状況を案内する事もありますが、接続が悪いのと、その先へのアクセスが全く分からないという問題があります。</p> <p>①今回の見直しで路線、時間等の問題点は明らかになり改善はされると思いますが、例えばスマホの乗り換え案内みたいな検索可能なシステム構築はいかがでしょうか？ 高齢者がそれでは使いにくいというデメリットもあると思いますが・・・。</p> <p>②周防大島の高齢化は今後も急激に進んで、免許返礼する方が一気に増加すると思います。高齢者の交通ニーズとしては病院への通院と、食料品等の買い物だと思えます。 病院への通院に関しては今回の見直しで解決できると思いますが、買い物に関しては例えばマルキュウグループが実施している宅配システムや、セブンイレブングループの取り組み等を周知強化することも重要かと思えます。</p> <p>③この島には小さな集落を含めてたくさんの集落があり、車を所有する方も多いので、試験的にその方の車を使って有料ボランティアとして送迎する仕組みも検討していかがでしょうか。</p>	<p>①について 公共交通の運行情報に関する統一データ形式があり、そのデータを作成することにより乗換案内等に活用できる仕組みがございます。P48事業③-2にてそうした仕組みをうまく活用していくこととしています。</p> <p>②について 買い物については、ご指摘のとおり宅配システムや移動販売車といった取組があり、免許を持たない方にとって重要なものと認識しています。事業を進める中でこれらの取組とも連携し、相互に周知が進めていけると考えています。</p> <p>③について 今後、路線の見直しを行うに際し、持続可能性に配慮しつつ地域にあった運行形態を検討していくこととしています。その際に、輸送資源の状況も踏まえつつ有償での委託も選択肢に入れることも検討していきたいと考えています。</p>
6	パブリックコメント	P1	<p>1.1計画策定の目的</p> <p>本町の現状の中に、「乗合バス利用者が減少」だけでなく、「乗合バスの減便、路線短縮」も入れるべきだと考えます。現実に、そうなっているからです。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、記載内容を見直します。</p>
7	同上	P2	<p>2.1.1位置・地勢 「本町ができた後も、旧町単位で状況が異なることから、旧町単位で分析・検討をします」</p> <p>現在の町が、旧町にこだわっている様子が現れすぎていると感じます。表現の訂正を提案します。また、分析・検討はすでに行なっておられるので、語尾は過去形であるべきではないでしょうか。 「町内でも地域により置かれている状況が異なることから、次の4地域に分けて分析・検討を行いました」などとすべきと考えます。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、記載内容を見直します。</p>
8	同上	P2	<p>2.1.2人口 「人口は旧4町の元役場(現在の支所)周辺など」</p> <p>理由は同上です。「人口は4つの総合支所周辺など」などとすべきと考えます。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、記載内容を見直します。</p>
9	同上	P3	<p>2.2.1上位・関連計画の整理</p> <p>「まちづくりの考え方」として、「たのしい島・すみたい島・いきたい島」 これは言ってみればキャッチフレーズで、考え方とは言えないのではないのでしょうか。総合計画の中にも、これが「まちづくりの考え方」として明記はありません。あえて「まちづくりの考え方」を総合計画の中から探すとしたら、P2にある「住民・事業者など自らが主体となるまちづくりを推進する」あたりではないかと思いますが、これでは行政が何もしないようにも感じられます。これを機に、まちづくりの考え方を表明してはいかがでしょうか。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、記載内容を見直します。</p>

周防大島町地域公共交通計画(素案)パブリックコメント等において寄せられた意見とその対応

(意見は到着順)

番号	意見者	対象頁	意見内容	対応案
10	同上	P3	2.2.1上位・関連計画の整理 関連計画に、「第2期周防大島町まち・ひと・しごと創生総合戦略」「※公共交通に関する記述なし」とあります。「周防大島町病院事業局再編について」にも公共交通に関する記述はないのに、病院の再編方針があえて記載されています。総合戦略も関連計画なのであれば、総合戦略の中の基本的な施策の方向性「地域が自ら創意工夫、地域の個性を最大限発揮、地域資源を活用した地方創生の取組を進めていきます。」くらいを記載しておくべきではないですか？	ご指摘を踏まえ、記載内容を見直します。
11	同上	P5	2.2.2関係部署の公共交通に係るニーズ等 記述内容が、行政内部でのやり取りのまま、前提を知らない町民等にはわかりづらい表現と感ずます。情報の補足が必要と考えます。	ご指摘を踏まえ、記載内容を見直します。
12	同上	P11	4.2.1 町全体の移動状況 「買い物はおおむね居住地区内で完結している」 示されたデータから、そう読み取られた根拠がわかりません。完結していないように見えますが、そう読み取った理由を教えてください。	ご指摘を踏まえ、記載内容を見直します。
13	パブリックコメント	P14	4.3 運行事業者等の意向 ●スクールバス油田森野線と路線バスとの接続を考慮することは考えられる。 ●スクールバスとの接続を考慮すると、登校時間と合わなくなる可能性がある。 これは逆に、白木線との接続は考慮できないということでしょうか？ スクールバスが登校時間と合わなくなるわけではないので、周防大島高校や大島商船高等専門学校の登校時間に合わなくなるということか？そうであればわかりやすく表記願います。	ご指摘を踏まえ、記載内容を見直します。
14	同上	P18	現状・問題点④ 公共交通を活かす意識の共有が不十分 主体を明確にすべきと考えます。「町や事業主体の公共交通利用促進意識が不十分」など。	ご指摘を踏まえ、記載内容を見直します。
15	同上	P18	本町にUターンで移住してくる人は、公共交通の利用になじみのある都市部の人が多いものの、移住者に対して自家用車の利用を勧めてしまっており、公共交通を利用する機会を逸してしまっている可能性があります。 また、公共施設や観光施設等において公共交通でアクセスする情報が不足しており、どう行けばいいか、何時に乗れるかなどの案内が不十分であることから、公共交通が分かりづらいものとして認識されている可能性があります。 なお、本町のバス路線は、以前は国鉄バスとして運行されていた経緯から、バス停の上屋や椅子が整備されている場所が多く、比較的良好な待合環境が整備されている場合があります。しかし、乗継場所となっている一部バス停では、そうした施設が不十分なところもみられます。 ・ここでは、活用を働きかけるべき対象が、「移住者」「観光客」などに絞られていると感じます。運転が困難になる高齢者に対して、公共交通の利用をより働きかけるべきです。「高齢者の免許返納の促進も不十分で、」という現状も追加すべきと考えます。 ・移住したての方に、既存住民ですら使っていない公共交通を勧める理由を教えてください。都会では、公共交通が便利だから使っていたという方が多いはずで。 ・図19からは、町は「民間のダイヤ検索サービスによる情報提供が不十分」、と考えていると受け取れるが、現状・問題点はそこではなくて、公共交通機関や町による情報発信が根本的な問題です。この図を掲載した意図を教えてください。	ご指摘を踏まえ、記載内容を見直します。 なお、移住者や観光客を記載している趣旨として、土地勘のある地域住民のみならず土地勘の無い移住者や観光客でも分かりやすいと感じる情報発信や交通ネットワークを構築することで、土地勘のある方も利用できるようにすることを目指していくことを意図しています。 また、図19を掲載した意図につきましては、町や事業主体の情報発信の不足によりこうしたサービスに情報が掲載されていないということを示すためのものと考えています。

周防大島町地域公共交通計画(素案)パブリックコメント等において寄せられた意見とその対応

(意見は到着順)

番号	意見者	対象頁	意見内容	対応案
16	同上	P19	<p>現状・問題点⑥ 高齢化率の高い本町において、今後も人口減少と高齢化が見込まれる中で医療ニーズも増加する見込みです。</p> <p>本町は、すでに高齢者数も減少していきます。町の人口ビジョンにそう示されています。高齢者が減少する中、医療ニーズが増加すると見込んでいる理由を教えてください。町内医療機関の医療供給の縮小により、実質的な需要が高まると見込んでいるということでしょうか。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、記載内容を見直します。</p> <p>なお、当該文章は人口ビジョンの中で高齢化率は引き続き上昇していくことが見込まれ、相対的に通院する人が増える可能性があること、ならびに町内医療機関の機能分化に伴って通院に係る移動ニーズが増加する見込みであるという趣旨で記載しています。</p>
17	同上	P19	<p>また、町内の児童・生徒の減少により、今後、小中学校の統廃合に伴って通学に必要な移動手段を確保しなければならない事態に直面するおそれがあります。</p> <p>以下の表現への見直しを提案します。 「また、児童生徒の減少により、今後さらなる小中学校の統廃合が必要になった場合など、通学専用のスクールバスだけではなく、他の公共交通と連携した効率的な通学手段の確保を検討する必要も出てくる可能性があります。」</p>	<p>統廃合に伴い、新たにスクールバスの購入等が必要になる可能性があります。ただ追加購入するのではなく、効率的に使える方法が無いかを検討・模索することは必要と考えています。</p>
18	パブリックコメント	P20	<p>5.2 本町の公共交通の課題 本町の公共交通が果たすべき役割や、本町の公共交通の現状・問題点の内容を踏まえ、問題を解決するための課題を整理すると、以下の5つに整理されます。</p> <p>果たすべき役割は、ここまでどこにも出てきていません。どこに論じられていますか？また、「整理されます」ではなく、「整理しました」が正しい表現だと考えます。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、記載内容を見直します。</p>
19	同上	P20	<p>課題① 送迎交通の公共交通への取り込み 本町内で運行されているあらゆる送迎交通を「輸送資源(*19)」と捉え、公共交通の☒部として役割を担う形で、施設利用者の利便性を確保しつつ町民の移動利便性も向上させることが有効であり、公共交通に取り込むための仕組みづくりが必要です。また、公共交通として機能するようにするためには、輸送資源(車両や運転士等)の棚卸し(*20)と移動需要に応じた再配分が必要となります。</p> <p>これらを実現するために、民間による送迎交通を公共交通に取り込むメリットを施設運営者とも共有し、理解を深めていく必要があります。</p> <p>送迎交通を公共交通に取り込む、施設側のメリットは何ですか？それを明記するか、パブリックマインドを持っていただいて協力いただく、という姿勢が必要ではないですか？ また、送迎交通を公共交通に取り込むためには、そもそも無料・有料の整理と法制度に適合する仕組みづくりが必須なはずで、それについても課題として触れるべきです。</p>	<p>施設側のメリットとしては、送迎交通の運行に係る負担軽減や地域貢献などがあるのではないかと考えています。ご指摘のとおり、無料・有料の整理や法制度に適合した仕組みづくりは必要と考えており、その意図を本文中の「(車両や運転士等)の棚卸しと移動需要に応じた再配分」の中に含んでおります。</p>
20	同上	P20	<p>課題③ 公共交通の結節点(*21)を起点とした地域づくりの推進 公共交通ネットワークの見直しと合わせて、乗継を行う「結節点」では、乗継時間を有効に使い、安心してバス等を待つことのできる環境をつくっていく必要があります。</p> <p>このとき、UIJターン(*22)人材を活用しつつ、地域づくりとも連携して行うことで、UIJターン人材と地域住民との交流が生まれ、地域の活力を生むことも目指していく必要があります。</p> <p>現住民に求めないのはなぜですか？移住者に過大な期待をして丸投げしようとしているとしか感じられません。ここに移住者が特記されている理由をお尋ねします。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、記載内容を見直します。</p> <p>なお、周防大島町の施策としてUIJターンを推進していくこととしており、その観点から記載させて頂いておりますが、UIJターン者に過度な期待を強いているものでも、地域住民にそうした役割を求めないというものでもございません。</p>

周防大島町地域公共交通計画(素案)パブリックコメント等において寄せられた意見とその対応

(意見は到着順)

番号	意見者	対象頁	意見内容	対応案
21	同上	P20	<p>課題④ 町民1人1人が公共交通を利用するきっかけづくり 自家用車利用が中心となっている現状において、地域に公共交通があることの意義を広め、理解を深めていく取組を進めていく必要があるとともに、ネットワークの再構築と並行して、公共交通を知る機会や使いたくなる機会を増やす取組を進めていく必要があります。 その際、土地勘のある町民だけでなく、土地勘のない移住者にとっても分かりやすい情報発信と交通体系構築にも取り組む必要があります。</p> <p>「公共交通を利用するきっかけがない」と、ここまでの現状分析の中に見当たりません。便利なら使います。そうじゃないから使わないのです。また、「わかりにくさ」は移住者にとってだけではなく既存住民にとってですらそうなのです。 こうした現状から課題4を立てるなら、「利用者目線での情報提供」などではないでしょうか。 取り組むべきは、「公共交通ネットワークの再構築と並行して、どこにどう公共交通が走っているのか対象者にわかりやすく的確な情報が伝わるように、法制度上の名称ではなく、利用者目線で伝わりやすい路線名、検索しやすいダイヤ情報や乗り換え案内の情報整理を行い、潜在的な情報が入手しやすい環境整備が必要です。」ということではないでしょうか。</p>	<p>ご指摘のとおり、現状では地域住民の方ですら分かりにくい状況を問題と考えています。 前述のとおり、土地勘のない移住者や観光客の方にも分かりやすい情報発信を目指していかないと、土地勘のある地域住民の方にも使って頂けないと認識しているため、計画期間内で情報発信の強化を進めてまいります。 また、情報発信だけでなく、試しに使ってみる取組も同様に重要と考えており、使う機会をあらゆる形で作っていき、今後の利用につなげていきたいと考えています。</p>
22	パブリックコメント	P20	<p>課題⑤ 交通事業者が事業を維持できる環境の維持 本業の「町民の移動手段」である公共交通を運行する事業環境を維持できるようにするため、貨客混載や宅配代行の仕組みのほか、広告収入や物販等、多角的な観点での収益確保策を検討する必要があります。 また、観光客をターゲットとした商品開発や医療機関との連携、定額乗り放題制(*23)の仕組みなど、新たな利用者の発掘、固定客の確保といった仕組みも実現に向けて取り組んでいく必要があります。</p> <p>課題設定として適切とは思えません。もちろん交通事業者がいなくなるとは困りますが、そもそも公共交通の利用者を増やして儲けて持続していく必要がある、ということを出すべきではないでしょうか。現状でも、行政からの補助金ありきで存続はできているわけです。行政の負担を減らしつつ、公共交通が維持できる環境整備を目指すという本来あるべき趣旨を示すべきです。 そういった趣旨で課題5を立てるとしたら、「経営的に持続可能な公共交通運営」などではないでしょうか。 (例えば)「総額で年間1億を超えている公共交通への町の支出を抑え、かつ交通事業者が事業を維持していけるよう、事業者は多角的に収益確保を検討し実施する必要があります。また、住民の生活交通としての利用だけではなく、観光客をターゲットとした利用促進や定額乗り放題制の導入など、新たな利用者層の確保にも取り組んでいく必要があります。」などとすべきではないでしょうか。</p>	<p>課題①～④において、ネットワークの再構築や地域づくり、利用促進等の取組を行うことで、利用者数を増やしたり行政負担を減らしたりすることを目指していくこととして挙げています。その他の観点として、課題⑤を書き分けて設定しています。</p>

周防大島町地域公共交通計画(素案)パブリックコメント等において寄せられた意見とその対応

(意見は到着順)

番号	意見者	対象頁	意見内容	対応案
23	同上	P21	<p>第6章 計画の基本的な方針 6.1 基本理念 本町の上位・関連計画や地域公共交通の現状と課題、求められる役割を踏まえ、本町の地域公共交通を維持・確保していくための指針となる基本理念を次のように設定します。 楽しく暮らせ、住み続けたい島となるために、乗りたくなるような公共交通を創造 第2次総合計画において設定されている「目指す将来像」ならびに「基本理念」を達成することを念頭に、地域公共交通が維持・確保されることで本町が「楽しく暮らせ、住み続けたい」島となれることを目指していきます。そのためには、「乗りたくなるような」魅力的な公共交通である必要があり、計画期間を通じてそれを創造していきたいと考えています。</p> <p>ここで初めて出てきたと思いますが、求められる役割、とは何ですか？ 乗りたくなるような魅力的な公共交通である必要があると、どこから導き出されたのでしょうか？ 私たちは、高齢や健康の理由で車の運転が困難になっても生活していくために利用できる公共交通、公共交通の不便さが理由で進学の見込みが減る子どもが出ない公共交通を求めています。 現状分析でもわかるように、自家用車が運転できる人は公共交通を使いません。公共交通に求められる役割は、自分の意思だけで移動ができない子ども、高齢者が安心してなるべく使いやすい移動手段であるということです。 現実を直視して基本理念の再検討を求めます。</p>	<p>本町の上位・関連計画で位置付けられているまちづくりの方向性を達成するために、周防大島町の地域公共交通に求められる役割と認識しています。 本計画では、通学や買い物、通院等で義務的に利用される方のみならず、普段は自家用車を利用している方でも「たまには公共交通に乗ってみよう」と思っただき、年に数回でも利用していただくことを目指していくことが、周防大島町の地域公共交通の持続可能性を高めていくために必要と考えています。</p>
24	パブリックコメント	P23	<p>6.3.2 地域公共交通確保維持改善事業の位置づけ 公共交通ネットワークにおいて幹線に位置付けられている防長交通の「大島駅～周防久賀～町立橋医院前」と「大島駅～大島庁舎～町立橋医院前」の2系統については、町立橋医院前バス停付近にある周防大島高校（安下庄校舎）ならびに大島地区にある大島商船高専、久賀地区にある周防大島高校（久賀校舎）と大島駅とを結び、町外から町内に通学する生徒の通学手段として重要な役割を果たしています。また、町内から町外の高校に通う高校生の通学手段としても、同様に重要な役割を果たしています。 これらのバス路線が無くなると、各学校にて個別にスクールバスを手配する必要があるほか、町内の高校生は保護者等の送迎により大島駅まで移動する必要があり、不便を強いられることから、これらの系統を維持する必要があります。 このため、国の地域公共交通確保維持改善事業において、幹線系統の補助を受ける必要があります。</p> <p>幹線交通維持の目的が、通学のみのように捉えられます。また、現在も個別のスクールバスがあり（周防大島高校）、保護者等の送迎も多く行われています。より現実を直視した表現を求めます。 「赤字補填をしてでも路線を維持する必要があり、町だけでは補填しきれないので、国の地域公共交通確保維持改善事業に位置付けてもらって国庫補助をもらう必要がある」ということなのではないですか？</p>	<p>本項は、ご指摘の「赤字補填をしてでも路線を維持する必要があり、町だけでは補填しきれないので、国の地域公共交通確保維持改善事業に位置付けてもらって国庫補助をもらう必要がある」ということを示すために、その内容を記載するものです。 利用状況を踏まえると、国庫補助の要件を満たす最も大きな要因は通学需要であることから、通学に特化した記載をしております。</p>

周防大島町地域公共交通計画(素案)パブリックコメント等において寄せられた意見とその対応

(意見は到着順)

番号	意見者	対象頁	意見内容	対応案
25	同上	P24	<p>6.4基本方針 <周防大島町の公共交通を良くするために取り組む5つの方針> ③様々な場面で使えること 公共交通は小中高生や高齢者のためだけの移動手段ではありません。普段は自家用車を使っている方も含めて、全年代が様々な場面で使えるようになる取組を進めます。</p> <p>私たちが求めているのは、まずは「様々な場面で使えること」ではなく、「必要な人が必要な場面で使えること」です。それができてから、全世代が様々な場面で使えるようになる取組を進めてください。</p>	<p>現時点で公共交通の利用者の主な目的は買い物や通院、通学も含めて多岐にわたるものと認識しています。そうした方々が使えるようになる意味でも「様々な場面」にあたると考えています。</p> <p>また、その人たちだけが使えるものを目指すのではなく、普段は自家用車を利用している方でも「たまには公共交通に乗ってみよう」と使っていただけるようなものを目指していく必要があると考えています。</p>
26	同上	P24	<p>④地域とつながっていること 公共交通は単独では成り立たず、都市計画や教育、医療、福祉、観光と密接に連携することで持続可能となっていきます。特に地域住民や地域の取組との連携は非常に重要です。そうした地域とのつながりを深める取組を進め、公共交通を愛し、守り育てていく取組を進めます。</p> <p>一般論になってしまっていると思います。本町の实情に沿って考えるなら、「都市計画」は関係ないのではないですか？（現状の中で、「本町の場合は都市計画に関するプランの策定はなく、予定もない」とあった） 地域とのつながりを深める主体は誰ですか？主体を明確にしてください。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、記載内容を見直します。</p>
27	同上	P27	<p>7.2 評価指標の達成状況の評価方法 協議会へ報告の後、ホームページ等でも広く公表することを要望します。</p>	<p>協議会にて報告した資料や議事概要等については、会議後に協議会webサイトにて公表しており、評価指標の達成状況についても同様の形で公表する予定です。</p>
28	同上	P32	<p>事業③-2 データを活用した情報発信内容・方法の改善 ここで検討されているようなデータを活用した情報発信やデジタルサイネージは、便数や乗り継ぎ先が多い地域ならば大変有効だと思いますが、本町の現状では、費用対効果を考えると不必要ではないでしょうか？少ないバスの時刻表を確認せずにバス停に向かい、乗り継ぎ先の電車や船の有無を確認せずにバス停に向かう人はいないのではないのでしょうか。</p>	<p>データを活用した情報発信の取組の中には従来の紙媒体の時刻表作成などの省力化やきめ細かな情報発信を行っている事例も他市町で実績があります。今後、費用対効果やニーズ等を踏まえながら詳細な内容を検討してまいります。</p>
29	パブリックコメント	P39	<p>事業④-1 地域や学校等と連携したモビリティマネジメントの推進 公共交通を使いたくなる機会を増やす取り組み、ということであれば、ぜひ、職員の皆さんが月に1度でも公共交通機関を使って通勤したり、出張に行くなど実践することを事業に加えるべきと考えます。それにより、具体的な課題が自分ごととして施策に反映できると考えます。</p>	<p>今後、具体的な内容を検討してまいります。その際の参考とさせていただきます。</p>
30	同上	P41	<p>事業④-3 結節点が地域の拠点となる取り組みの実施 移住者で新規に店舗等の開業を目指している人がいる場合に、場所を提供 なぜ、移住者に限っているのでしょうか？新規に店舗を構え開業を検討している方等に場所を提供、でいいのではないですか？既存住民と差をつける理由があるなら教えてください。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、記載内容を見直します。</p> <p>なお、周防大島町の施策としてUIJターンを推進していくこととしており、その観点から記載させて頂いておりますが、UIJターン者に限定しているものでも、地域住民を排除するものでもございません。</p>
31	同上	P35	<p>防長交通のバスカード廃止にともなうICOCA移行により定期券はどうなるのか。</p>	<p>防長交通の定期券は従来通りの紙媒体のみの販売、一部の定期券ではスマートフォンのアプリで購入・ご利用頂けると承知しています。</p>
32	同上	全体	<p>スクールバスの混乗型に一般客は乗り難い。</p>	<p>現状の情報発信のあり方に問題があり、ご利用しづらいと感じているものと認識しています。施策遂行を通じてご利用しやすいように改善していきたいと考えています。</p>

周防大島町地域公共交通計画(素案)パブリックコメント等において寄せられた意見とその対応

(意見は到着順)

番号	意見者	対象頁	意見内容	対応案
33	同上	全体	周防大島町内における防長バスの運賃に驚く。(大島駅～油宇の片道運賃が1,800円なので熊毛IC～広島市内の片道運賃とほぼ同額)	P33 事業②-1において、運賃体系を見直していくこととしています。この中で運賃体系のあり方も検討していきたいと考えています。
34	同上	全体	観光客向けに週末型路線の運行を提案する。 例えば 「新椋野」からグリーンステイながうら、「安高」から竜崎温泉、「周防長崎」から片添ヶ浜などへ枝線を設けてピストン運行してもらえると利便性が格段に向上する。	今後、具体的な内容を検討してまいります。その際の参考とさせていただきます。
35	同上	全体	高齢者向けの年間パス発行	今後、具体的な内容を検討してまいります。その際の参考とさせていただきます。
36	同上	全体	JR大島駅と町内二次交通の連携向上	今後、路線の見直し等を行うにあたり、できる限りJRのダイヤも踏まえた設定をしていきたいと考えています。
37	同上	全体	レンタサイクルの可能性についての協議	今後、具体的な内容を検討してまいります。その際の参考とさせていただきます。
38	同上	全体	町営・温泉・病院などのバスを集約して町内周遊するコミュニティーバスの運行。	P29, 30の事業①-1, ①-2において公営の送迎交通等を含めた路線の見直しを検討することとしています。今後、具体的な内容を検討してまいります。
39	同上	P22	JR大島駅から町立橋病院までぐるっと1周は防長バスを残し他は補完するという構想は、防長交通は今の便数しかないのにそれに支線を拡充しても上手く回せるのか疑問。	P29, 30の事業①-1, ①-2において公営の送迎交通等を含めた路線の見直しを検討することとしています。今後、具体的な内容を検討してまいります。